

インフォシス、半導体設計サービスのリーディングプロバイダー InSemi を買収

この戦略的投資は、半導体エコシステムに対する当社のコミットメントを示すものであり、
エンジニアリング R&D サービスの専門知識を強化するものです

インド(ベンガルール) - 2024 年 1 月 11 日：次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである [インフォシス](#) (NSE,BSE,NYSE: INFY) は、本日、半導体設計および組込サービスのリーディングプロバイダーである [InSemi](#) の買収に関する正式な契約を締結したことを発表しました。今回の戦略的投資は、インフォシスのエンジニアリング研究開発能力をさらに強化し、グローバルクライアントと共創してデジタルトランスフォーメーションジャーニーを支援する継続的なコミットメントを示すものです。

半導体は、人工知能（AI）、5G、ハイパーコネクティビティ、ハイパフォーマンスコンピューティング、量子テクノロジー、バーチャルリアリティ、IoT、スマートデバイスの飛躍的成長を促進するテクノロジーの中核を担っています。この協業は、ニッチな設計スキルを大規模に提供することで、インフォシスの Chip-to-Cloud 戦略を加速させ、AI/オートメーション・プラットフォームや業界パートナーシップへの既存の投資ともシームレスに連携します。また、既存の AI/オートメーション・プラットフォームへの投資や業界とのパートナーシップともシームレスに連携する予定です。

2013 年に設立された InSemi は、電子設計、プラットフォーム設計、自動化、組込み、ソフトウェア技術に精通し、エンドツーエンドの半導体設計サービスを提供しています。半導体、家電、自動車、ハイテク業界の大手グローバル企業にサービスを提供しています。InSemi は急成長を続けており、900 人以上の設計スペシャリストで構成されるチームは、競争優位性、機敏な思考、革新的なアプローチで、ビジネスを変革する技術主導のソリューションを構築しています。

インフォシスの EVP 兼共同デリバリー責任者であるディネシュ・R は「当社のエンジニアリング R&D サービスにより、業界全体で最先端のソリューションを提供するリーダーであり、最前線にいます。AI、スマートデバイス、5G、そしてその先にある電気自動車の出現により、当社の組み込みシステムと統合された次世代半導体設

計サービスへの需要は、独自の差別化要因となっています。InSemi は、次の成長の波とエンジニアリング R&D におけるリーダーとしての地位を築くための戦略的投資です。

「InSemi は過去 5 年間で、半導体のバリューチェーン全体にわたり、堅実な成長と設計能力で基盤を築いてきました。インフォシスを触媒とすることで、相乗的な組み合わせが生まれ、私たちは規模を拡大し、AI とエンジニアリング R&D、次世代技術の力をグローバルな顧客に提供し、産業分野を拡大することができます。

InSemi の共同創業者であるスリカンタ・サンピゲタヤ氏とアルプ・ダッシュ氏は、「私たちはさらなる飛躍を目指し、インフォシスとともにイノベーションの道を切り開いていきます」、と述べています。

インフォシスは、2024 年度第 4 四半期中にインセミを買収する予定です。

InSemi について

InSemi は半導体設計および組込みシステム・ソリューションのリーディングカンパニーです。エンドツーエンドの半導体設計サービスを提供しており、RTL & ASIC 設計、フィジカル設計、STA、検証、DFT、回路設計 & レイアウト、FPGA、ファウンデーション IP 設計、PSV、およびエミュレーションなど、幅広いサービスを提供しています。InSemi のエンジニアチームは、5nm までの先端技術ノードにおいて、複数の ASIC 設計テーパーアウトを成功させています。また、900 人以上の技術スペシャリストを擁しており、競争優位性、アジャイルマインドセット、技術革新により、技術的課題に対処し、ビジネスを変革しています。InSemi は、電子設計、プラットフォーム設計、自動化、組込み、ソフトウェア技術の専門知識を駆使して、戦略、革新、設計のスマート・ソリューションを提供しています。高性能でシームレスな接続性を実現する製品をパワーアップし、お客様のビジネスの成功を支援しています。詳細は www.insemitech.com をご覧ください。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人以上の社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、ビジネス、コミュニティのために次の機会を創造するために働いています。インフォシスは、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的に行います。私たちは、AI ファーストのコアでお客様を支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、私たちのイノベーション・エコシステムからデジタル・スキル、専門知識、アイデアを移転することで、常時学習による継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材がインクルーシブな職場で活躍する、適切に管理され、環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

www.infosys.com を訪れて、Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2022 年会計年度（2023 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス 安藤

Email : jo_ando@infosys.com